

平成 29 年度個人防護具着脱訓練支援及び個人防護具配備事業について

1 事業概要

(1) 事業目的

新型インフルエンザ等の感染症発生時に対策の中心となる医療機関等の二次感染防止能力を向上させるため、個人防護具着脱訓練実施支援及び感染防護用個人防護具配備を行う。

(2) 事業対象

地区医師会、感染症指定医療機関、感染症診療協力医療機関、感染症入院協力医療機関、民間救急事業者

(3) 事業内容

- ① 希望する医療機関等へ個人防護具（備蓄用・訓練用）を配備
- ② 医療機関等は配備された個人防護具（訓練用）を用いて着脱訓練を実施（希望する医療機関等には、訓練講師（感染管理認定看護師）を派遣）
- ③ 訓練結果を都に報告

2 平成 29 年度の実績

	個人防護具配備対象数	個人防護具配備件数	講師派遣件数
地区医師会	46	32	9
医療機関※	224	149	28
民間救急事業者	1	1	1

※医療機関(感染症指定医療機関、感染症診療協力医療機関、感染症入院医療機関)

【講師派遣を受けた着脱訓練参加者の意見】

- ・実際に着脱訓練を受けてみて適切な着脱方法が理解できた。
- ・感染管理認定看護師による実技指導は分かりやすく、清潔・汚染区域の区別の必要性等、十分に理解できた。
- ・今後他職員への指導の参考になった。
- ・一度参加しただけで習熟するのは難しく、今後も継続して訓練を行う必要がある。
- ・少しでも多くの方に着脱訓練を体験してもらうことが大事だと思う。
- ・有事の際にスムーズな着脱ができるか不安である。個人防護具着脱のためには定期的な訓練が必要であるとの認識が持てた。
- ・感染防御についての意識が高まり、新型インフルエンザ等の感染症への対応を進めていく必要があると再確認した。
- ・今回の訓練を契機として、新型インフルエンザ等の感染症に対する体制作りをしていく予定
- ・個人防護具を着用してみて、かなり暑くて体力を消耗する危険性があると感じた。